

美しい棚田景観の維持とヤマザクラ群の保護

活動の経緯

当地域は四方を高い山々に囲まれ、基盤整備が未実施など不整形かつ狭小な田が多い。

また、農業者の高齢化や担い手不足から農業生産活動や農地の維持管理の継続が懸念されていた。農業生産活動の継続を不安視していた中、共同活動により農地及び農業生産活動の維持を図ろうと、平成12年度から取り組んでいる。

活動の概要

農地法面の定期点検、景観作物等の植栽、水路・農道の草刈り、清掃、鳥獣害防止対策（電気柵の設置）



適正に管理されている急傾斜法面



沓掛峠のヤマザクラの保全

活動の成果、主な実績等

傾斜が激しく狭小な田が多いが、農地法面や農道の草刈り、周辺林地の下草刈り等こまめに管理を行っており、美しい棚田景観の維持に努めている。

堆きゅう肥の施肥により、化学肥料や化学農薬の使用を低減し、人や環境にやさしい循環型農業に取り組んでいる。

電気柵を設置しイノシシの被害を防止している。

近くに「沓掛峠のヤマザクラ群」があり、協定参加者全員が「沓掛峠の山桜を守る会」の会員となって下草刈り、肥培管理、樹木の消毒などの手入れを行い、町の名勝である山桜の保全に努めている。

棚田とヤマザクラ群を一体的に管理することで、美しい農村景観の維持に努めている。